つよい寒さ

寒さも日に日にきつくなってしまった

年内一年がみじかく感じられて行く　年末に

三百六十五日が一年だろうが　今夜わたし寒く

なったと言っている

六十一年前　ここへ来た時も寒い風が吹いて

いた

「がくしゅう」も「水道」も「井戸」も分からった　でもかしこい

子どもが住みやすい所に変って

行った　友人に「あなたの行った所は「ださいた

所」とよばれた水　すばらしい所だった

ところが　ここ数年の間に次々店が出て来て

行った　いつも交番巡査の人は到りかし

ていた店が　安寧第すると言って来た

あわてて必要なものをまとめ買いをして

店のとじる者を待ちに「まんびきいるの　行くわ

よりそこの子がいるんだよ」　おどろいて

そんなにまんびきがあるの」「だって母子の

ものが「ぶりぶりはさみそべとるいち降って行く

の」とのことだった

コンビニでもらった

ミツモリ「クシ山」だ

クシ山のデンプンがいっぱいなし　それで

胃腸薬と言っていた

お客さまは　神さま仏さだ

もうひとつ最近のはなし

その人は筋肉をつくするというて取っ

ていたらしいが　「最初は千円、次回は六千円

そんなにかかるなら　と顔色をかえ

しる　これはひとつの商売のテクニックい

と思うが　後ろはエさくと同じことを言う

客手がつよい　どうしてこんなことになった

のだろうか

物が多すぎるのではと思う　ほどくに物が

ある　世はそんなことは常識と思う

物の販売できく　個人的に相対した時に必ず

相手がわるいと思ってしまう人は多

かる、　第三者が正しいと思っている

ひとつとしてわるいのは自分の考えかたと不安、

2019/12/6